算数科　小学校　2年

単元名「かさ」
啓林館　「わくわく算数2上」

単元の流れ（全６時間）

単元の流れ
詳細はこちら
CLICK

【第１時】
主な学習内容
・水筒に入る水のかさはどちらが多いか、比べ方を考え、測定し比較する活動を通して、基準となる共通な単位の必要性に気付く。

「活用」の力育成のために
いろいろな解決方法について考え、測定する。（ポイント①）

【第２時】
主な学習内容
・いろいろな入れ物に入る水のかさを測定する。（１ℓ以上のかさ・ℓますを使って）

「活用」の力育成のために
ℓますを使って、いろいろなかさを測定する。（ポイント②）

【第３時】
主な学習内容
・1ℓより少ない水のかさを測定する活動を通して、単位dℓを知り、dℓとℓの相互関係を理解する。
・簡単な場合のかさのたし算やひき算の仕方を考え、計算する。

「活用」の力育成のために
dℓますを使って、いろいろなかさを測定する。（ポイント②）
かさの加法・減法の計算を実測で検証する。（ポイント③）

【第４時】
主な学習内容
・１dℓより少ない水のかさを測定する方法を考え、mℓを用いるよさを知り、mℓ・dℓ・ℓの相互関係を理解する。

「活用」の力育成のために
10mℓますを使って 1dℓ分を測定する。（ポイント②）

【第５時】
主な学習内容
・いろいろな入れ物に１ℓと思う分だけ水を入れ、量感をつかむ。

「活用」の力育成のために
いろいろな入れ物を使うことにより、底面の広い入れ物に移し替えて水面が下がってもかさは同じであること等いろいろな気付きを交流する。（ポイント②）

【第６時】
既習事項の復習

評価問題
CLICK

HOME　本時の流れへ

単元目標
○かさの普遍単位を知り、それらを使って測定する。

＊移行により内容や記号表記が一部変更

単元構成の意図
第２学年の「長さ調べ」と同様に直接比較、間接比較、任意単位による測定などの活動体験を通して、基準にする共通な単位の必要性に気付かせることが大切である。

１ℓますで測定したり、１dℓますで測定することを通して、かさに対する量感も同時に育てる。また、それらの体験がもととなって、およそのかさを見当付けることができるようになる。

そのために、具体的に測定する活動（操作活動）の時間を十分に確保する。

「活用」の力を育てるポイント
①普遍単位の必要性に気付かせるため、直接比較・間接比較・任意単位による比較などいろいろな調べ方を体験する機会を確保する。
②測定の経験や身の回りの 1ℓ、1dℓ、1mℓ等の入れ物探しを通して量感を育てる。
③かさの加減計算は、同じ単位の数値に目を向けて考えればよいことを、既習の長さと関連付けて考えたり、具体的な量をもとに考えたりして判断する力を付ける。
④本時のめあてを明確にし、今日の学びについて振り返ることを通して、よりよい考え方や表現の方法に気付かせる。

CLICK
ワークシートはこちら